

神奈川県石川ひろのり

議会議員 県議会レポート 2022 26



住み続けたい街
麻生区のために

石川ひろのり事務所
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり

本当に神奈川県は住みやすいのか
あなたの納めた税金を
「生まれて・育って・住んで良かった」
誇りある神奈川県に。
今日より明日はきっといいことがある。
住み続けたい神奈川県を目指して。

早急な総括を行い、今後を見据えた中小企業支援体制の強化を求める。 産業労働常任委員会にて質疑。

主な質問

本来の県内企業支援を 体制の充実を求める

石川
これまでの飲食店に対する新型コロナ感染拡大防止協力金が第18弾まで行われてきた。現在の交付状況はどのようになっているのか。

支援調整担当課長

現在、第8弾までの交付作業はすべて終了している。第9弾以降12弾まではそれぞれ約50件、第13弾・14弾約100件、第15弾約300件、第16弾約1,200件、第17弾約1,300件、第18弾約1,400件の交付処理が残っている。

石川
第9弾、10弾の受付は令和3年8月27日まで、11弾は同年9月17日までとなっており、約1年経過している。協力金処理の見通しはどのようになっているのか。

支援調整担当課長

残案件には、必要な書類を要求しても送ってこない、送ってきても書類不備があるといった困難案件が多い。今後、第12弾までにおいては本年8月中に、第13弾から15弾までは年内に書類等揃わない案件について不交付決定処理を進めていく。

石川

協力金の審査業務は委託業務となっている。委託業者へのこれまでの委託金額、契約期間はどのようになっているのか。また、契約終了後はどのような体制で対応するのか。

支援調整担当課長

第3弾と第6弾～18弾はトランスコスモス(株)に委託している。これまでの委託金額は約67億円、第18弾の契約期間は9月16日までとなっている。委託契約終了後の未処理案件は県職員による直営審査となり現在120名体制で審査を行っている。

石川

9月の委託業者との契約終了後には、現在残っている約1,400件の未処理件数を県職員が対応することとなる。委託業者との調整を密に行いスピード感を持った交付処理を契約期間内に進めるよう求める。

石川

現在、新規感染者数が増加傾向となっている。今後、感染拡大があった場合、委託事業者等の対応の方向性は決まっているのか。

支援調整担当課長

今後、感染拡大があった場合に協力金という制度があるかわからない。仮に協力金を実施する場合には、要請の直前に要請内容や交付要件が決まると思われる。このため、申請システムを構築し、協力金業務のノウハウを持つ企業に依頼する可能性が高い。

石川

当初、複数業者への見積りを取り委託するという状況で交付が遅れた。速やかな交付のための随意契約は理解する。しかし、随意契約である以上、契約に関する透明性、これまでの課題に対する総括などを行い、次に向けた体制づくりが必要と考える。

支援調整担当課長

全ての弾の終了後、振り返り、総括を行っていく。

石川

すべての弾の終了を待つのではなく、早急にこれまでの総括を行い、本来の業務である県内企業支援体制を充実していくよう強く要望する。

かながわPay第2弾に向けた 取組みについて

石川

県は7月19日から総額50億円のかながわPay第2弾の取組みを行うと承知している。第1弾では当初、加盟店数が少なかったものの最終的には約18,000店の加盟となったとの報告があった。しかし、終了した「かながわPay第1弾」のホームページ内の加盟店検索を行うと、7ページにわたり「210」「217」というような数字が並んでいたり、飲食店であるにもかかわらず検索種別がその他になっているなど、利用者にとっても登録してくれた加盟店にとっても非常に分かりにくい状況になっている。この管理はどのようになっているのか。

支援調整担当課長

ホームページの作成は委託業者に委託している。内容については、県でも確認をしている。

石川

駅名検索では、「百合ヶ丘」の検索で、「百合丘」と登録されているため、検索に引っかからないという状況もある。数字はタクシーの号車番号と推測するが、どこのタクシー会社かわからない。利用しづらい上に、加盟店がたくさんあるような誤解を招く恐れがある。少なくとも〇〇タクシーという会社名で1店とするべきと考える。第2弾に向けて、利用者、加盟店にとってわかりやすいものにするよう早急な修正を求める。

支援調整担当課長

第2弾開始までにできる限りの対応をしていきたい。



マスク飲食実施店 認証制度について

石川

飲食店において、かながわPay利用条件は感染対策取組書の掲示、9月まで利用が延長された「GO TO EATかながわ」ではマスク飲食実施店認証制度の実施が条件となっている。かながわPayにおいてマスク飲食認証制度が条件となっていない理由は何か。

支援調整担当課長

感染対策取組書の内容とマスク飲食実施店認証制度の内容が重なっているため同じような要請であると考えられる。

石川

今の答弁は非常に乱暴な答弁である。感染状況が落ち着いている状況においても、県の依頼であるM.A.S.Kを遵守し続けている飲食店もある一方で、マスク飲食認証店であるにもかかわらず、アクリル板が外されるなど、コロナ禍前と同じような状況で営業をしている飲食店もでてきており、実際の現場での対応がバラバラになってきている。飲食店事業者にとっては、県の政策局や産業労働局など関係なく、県からの細かい依頼に協力頂いてきている。是非、事業者を支援する産業労働局が先頭に立って、現場の声を拾い、現場に即した対応にしっかりつながるよう強く求める。



活動報告

田植え体験

5月、お誘いを頂き「田植え体験」にお邪魔させて頂きました。初夏のような真っ青な空の下、親子連れ、ご年配の方、障がいをお持ちの方など全体で約380人もの方が参加されての体験会でした。一緒に田植えをした子どもたちは、裸足になりながらヌルっとした田んぼに足を入れるだけで大はしゃぎ。保護者の方からは、普段、泥んこになって遊ぶという機会も少なく貴重な体験をさせてもらっているとお話もあり、子どもたちは一生懸命に田植えを楽しんでいました。麻生区の魅力の一つである自然豊かな景観、そして農地は、農産物の生産だけでなく、雨水を一時的に貯める防災機能や生物の生育・生息空間としての役割などを有しています。この魅力を次世代に引き継いでいけるよう取り組んで参ります。



しゃべり場あさお with ※SDC-Car

6月、ご案内を頂き、麻生区役所前広場で開催された「しゃべり場あさお with SDC-Car」に伺いました。この取組みは、介護や社会福祉の相談員が専用車に乗り込み、区内各地を移動できる「まちのひろば」として出向き、住民の皆さんがそれぞれの地域で気軽に相談できる場を目指しています。生活の中で「どこに相談したらよいか分からない」困りごとや、ちょっとした悩みを相談でき、問題解決のアドバイスやマッチングをしてくれます。今後この活動を通じて麻生区のSDCの在り方を検討していく予定です。

※SDC…ソーシャルデザインセンター

問合せ先：麻生区役所企画課 TEL 044-965-5112



麻生区制40周年記念式典

7月、新百合ヶ丘21ホールで開催された「麻生区制40周年記念式典」に出席。式典では、麻生区に学校がある昭和音楽大学の学生さんたちによるミニコンサートや「わたしとあさおの未来～区制50周年に向けて～」と題した未来を担う若者によるリレートークなどが催され、これからの麻生区に向けての熱い想いなど聞かせて頂きました。また、区制誕生から先人たちが作ってこられたこれまでの移り変わりの映像も放映され、麻生区の歩んできた歴史や魅力を存分に感じる事ができました。今後も住みたい麻生区から住み続けたい麻生区を目指して尽力して参ります。



県政報告(タウンニュース掲載)



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ/横浜市出身/サラリーマンを約20年経験/参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験/麻生区在住

○中小企業支援
新型コロナウイルスの対応が長期化する中で、県内でも大きな影響を受けているとの共有を見据え、事業の透明性を追求してしま

○エネルギー対策
政府は2050年までに温室効果ガスの排出を

民権クラブ 県政報告vol.39
新型コロナウイルスとの共存を見据えた地域経済活性化に向けて
『産業労働常任委員会』に所属決定
神奈川県議会議員 石川ひろのり
5月17日より県議会第2回定例会が開催され、今年度は、中小企業支援・雇用・エネルギー対策などの審査を行う「産業労働常任委員会」への所属が決定しました。
新型コロナウイルスの対応が長期化する中で、県内でも大きな影響を受けているとの共有を見据え、事業の透明性を追求してしま
5億円の予算を計上して
今後は様々な課題に
具体的な対策を求め
ご意見を伺い、ご要望をお寄せく
ださいます。
全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。県はこれまででも再生可能エネルギーの導入促進、次世代自動車の普及などを進めています。多様な技術を活用した省エネ・節電の取組み促進、エネルギー需給の在り方などの課題に対し、生活に身近な視点から取り組んで参ります。

石川ひろのり事務所
麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
☎044-455-6611
☎044-455-6614
石川ひろのり 検索

新型コロナウイルスとの共存を見据えた地域経済活性化に向けて『産業労働常任委員会』に所属決定 2022年5月27日号

駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、皆さまの通勤・通学時間帯を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くのお声掛けをいただき、地域の皆さまの生の声をお聞きする貴重な機会となっております。見かけた際にはぜひご意見・ご要望などお聞かせください。



総額50億円還元キャンペーン！ かながわPay 第2弾

神奈川県内の加盟店にて、かながわPayアプリを使ってお買い物いただくと、お買い上げ金額の最大20%分のポイントを還元するキャンペーンです。【付与上限】おひとりさま30,000円分まで。

※中小企業及び小規模事業者でのご利用の場合：20%、大企業でのご利用の場合：10%のポイント還元となります。

※フランチャイズなど、10%のポイント還元となる場合もあります。

※期間内であっても予定の予算に到達した場合、ポイントの付与を終了します。

※新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、予告なく変更となる場合があります。

ポイント付与期間：2022年7月19日(火)～11月30日(水)

ポイント利用可能期間：2022年7月26日(火)～2023年1月31日(火)まで



かながわPay 第2弾

付与上限 3万円分ポイント還元キャンペーン

神奈川県キャッシュレス・消費喚起事業

かながわPayをダウンロードして参加しよう!

App Store からダウンロード

Google Play で学べよう

問い合わせ：かながわPayキャンペーン事務局 TEL 050-2018-1109 / 0570-783-661
受付時間：全日 10:00～19:00



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

趣味：ジョギング(湘南国際マラソン大会6年連続出場。自己ベスト記録3時間29分28秒) 家族：妻、子供一人

好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

石川ひろのり 検索

ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

| | | | |
|--|-------|-----|-----|
| 石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614 | ご意見など | お名前 | TEL |
| | | ご住所 | |